

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol. 75

オレゴン州ティンバーライン



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」!

案内役は、国際交流員のエマ・セイヤーズさんとアレックス・ロザウスキさんです。

Hello everyone! アレックスです。季節はもう冬ですね。青森の山でもそろそろスキーができそうですね。ぼくの育ったオレゴン州にもすばらしいスキー場があります。そこで今回は、そのスキーリゾートについてお話ししたいと思います。

オレゴン州の観光地の中で旅行者が最も多い場所は、多分フッド山にあるティンバーライン・ロッジだと思います。ここは1930年代にWorks Progress Administration (WPA) という計画によって建設されました。

WPA (公共事業促進局) 計画はルーズベルト大統領が始めた世界大恐慌の救済計画でした。330万人以上のアメリカの失業者が公共事業のために雇われました。

ティンバーライン・ロッジの中で最初に出来た建物はホテルでした。インテリアは上品ではなく、素朴なスタイルにデザインされました。そのスタイルは太平洋岸北西部の国有林にある米国農務省林野部が建てたキャビンやビルと似ていて森に溶け込んでいます。

1920年代にこの計画が始まった時、多くの人々は「フッド山の自然を守るために開発はしない方がいい」と考えていましたが、ほかの人々は「フッド山の自然を守りながらポートランドの観光を伸ばすために開発したい」と考えていました。この議論のおかげで「フッド山はポートランドだけの山ではなく、オレゴン州のすべての人々のための山」という考え方が生まれました。すぐに人々は開発の資金を探し始め、オレゴン州WPAのディレクター、エメルソン・グリフィスという有力なコネを見つけました。彼は資金を提供し、それから計画を始めました。WPAプロジェクトのおかげで、オレゴン州の人々は仕事を見つけるのが困難な時期に仕事を得ることができました。当時はまだ世界大恐慌でしたので、いろんな粗末な仕事をしていました。例えば、絨氈は古い制服で作られ、暖炉の一部は線路のレールで作られました。1937年に、グリフィスディレクターの依頼で、ルーズベルト大統領はティンバーライン・ロッジの開幕式に出席し、1200人以上の人々に対しお祝いの挨拶をしました。

1940年代には、通常の週末で5千人以上の人々が来ていましたが、第二次世界大戦の影響で事業は落ち込み、1955年にはティンバーラインは破産しました。その年に、リチャード・コンスタームがティンバーラインの管理者になり、ティンバーラインを全盛期に戻すために修理をすることに決めました。それはとても大変で、1部屋の修理代金は1万5000ドルもかかりました。(現在に換算すると12万1319ドル・約1700万円) スキーリゾートのリフトは全て壊れていたもので、ロッジの下にリフトを建設することにしました。それはブッチリフトといい建築費は1955年で1万ドルでした。(現在に換算すると80万8000ドル・約6680万円)

1960年代にアメリカにスキーブームがやって来て、ティンバーラインに再び利益をもたらしました。1969年には75万人以上の人々が来ました! 1977年にはポーマー氷河を登るリフトが完成したので、ティンバーラインはアメリカ初の1年中営業するスキーリゾートになりました。そのおかげでティンバーラインはとても人気になりました。100万人以上の宿泊者とともに日帰り客も多かったので、ティンバーラインのホテルは超満員でした。そこで1978年には日帰り用のロッジの建設が始まり、1982年に完成しました。

ティンバーライン・ロッジはいまだに人気があり、年間100万人以上の人々が訪れ、夏には子どもを対象にしたスキーやスノーボードのキャンプもあります。ウィンタースポーツ以外にもいろんなアクティビティーがあり、例えばクリスマスにサンタクロースやトナカイを連れて来るPRイベントなどもたくさん行っています。ホテルには温水プール、天然水の風呂、レストランやバーもあります。人々はフッド山を登るためにもやって来ます。フッド山の頂上は3,429mで、毎年1万人くらいが登山に来ています。私も何度かティンバーライン・ロッジに行ったことがあります。春のスノーボードは最高だと思います。もしオレゴン州に行ったら、ティンバーライン・ロッジにぜひ行ってください!



△外から見たティンバーライン・ロッジとフッド山(上) / ロッジ内にあるアメリカの有名な伝説「ブルーオックス」の壁画(下)



△正面から見たティンバーライン・ロッジ